

よむよむ

1・2・3年生のみなさんへ

- ★ ものがたりをよみはじめた人へ
- ★★ ものがたりを読むのになれてきた人へ
- ★★★ もっとおはなしをたのしみたい人へ

こひつじクロ

エリザベス・ショー／作・絵 ゆりよう子／訳 童話館出版



ひつじかいのおじさんがせわしているひつじは、みんなまっ白。でも1ぴきだけ「クロ」とよばれるくろいひつじがいました。クロは「みんなとおなじように白くなりたい」とおもいますが、おじさんは「そのままがいちばん」といいます。そんなある日ふぶきがきて……。

タヌキの土居くん

富安陽子／作 大島妙子／画 福音館書店



アカネちゃんがとう校すると、となりの土居くんのせきにタヌキがすわっていました。土居くんがタヌキに?とびっくりしていると、こん学きのもくひょう「なかよく、げん気に、しょうじきに!」をゆびさして、土居くんはじつはタヌキで、正しきにタヌキのまま学校にきたといひます。

マウスさん一家とライオン

ジェームズ・ドーハティ／作 安藤紀子／訳 ロクリン社



ねずみのマウスさん一家がのはらでたのしくピクニックをしていると、ライオンにであいました。ライオンはいたずらをしたすえっこのチェダーをつかまえますが、かぞくがたのみこむのを見て、見のがしてやります。ライオンがピンチになったとき、こんどは一家がたすけにきます。

たんけんクラブ

シークレット・スリー

ミルドレッド・マイリック／ぶん アーノルド・ローベル／え 小宮由／やく 大日本図書



ビリーとマークは、すなはまでひろったビンの中に、手がみが入っているのを見つけました。あんごうでかかれた手がみは、しまにすむトムからで、「たんけんクラブをつくりたい」とかかれています。ふたりはべつのあんごうをかんがえて、へんじをかきました。

車のいろは空のいろ 白いぼうし

あまんきみこ／作 黒井健／絵 ポプラ社



まつい松井さんのタクシーには、ときどきかわったおきやくさんがのってきます。ある日、タイヤのパンクをなおすの手つだってくれた小さなきょうだいをタクシーにのせてあげました。ところがあとで車のシートをみると、きつねのけがのこっていたのです。(シリーズあり)

せかいいちおいしいスープ

マーシャ・ブラウン／文・絵 こみやゆう／訳 岩波書店



三人のはらぺこのへいたいは、いえにかえると中に立ちよった村で、たべものをわけてほしいとたのみましたが、だれもわけてくれません。そこでへいたいたちは「いまから石のスープをつくります」と、村人たちによびかけました。

びゅんびゅんごまがまわったら

宮川ひろ／作 林明子／絵 童心社



かえで小学校のあそびばは、こうすけがけがをしてから、かぎがかけてられしまいました。校ちょう先生はびゅんびゅんごまをまわせたあけてあげるとやくそくをします。こうすけたちはこまをまわせるでしょうか。

干したから…

森枝卓士／写真・文 フレーベル館



天気がいよ日に、やさいやさかなをたいようのひかりにあてて干しておくで、すいぶんがぬけてかたくなり、あじもかわります。れいぞうこに入れなくてもくさらないようにするためです。干したたべものは日本だけでなく、せかい中でつくられています。

日本の神話 くにのはじまり

舟崎克彦／文 赤羽末吉／絵 あかね書房

イザナギとイザナミは日本のしまじまをつくります。たくさんのかみがみも生まれましたが、さいごに火のかみを生んだときに、イザナミはやけどをおい、ししゃのくにへたび立ってしまいます。イザナギはなげきかなしみ、ししゃのくにへたずねていくことにしました。(シリーズあり)



はじめての北欧神話

菱木晃子／文 ナカムラジン／絵 徳間書店

むかしむかしの大むかし、せかいにはなにもなくて、ただ大きながらんどうが、ひろがっているだけでした。こんなはじまりかたをする、きたヨーロッパにつたわる神話は、きびしいしぜんの中で語りつがれてきた力づよいものがたりです。



しんわ
神話